



平成 29 年 9 月 29 日
筑後川河川事務所

解禁日：平成 29 年 9 月 29 日 14:00 以降

筑後川水系赤谷川応急復旧工事について（権限代行工事）

- ・赤谷川、乙石川及び大山川において、通常の降雨を流下させる流路の確保が概ね完了。
- ・今後は、これまでの整備の効果を確保するため、赤谷川中流部に土砂止め工(仮設・2箇所)を整備するとともに、地域の安全性をより高めるため再度下流からの追加掘削を継続実施。

平成 29 年 7 月九州北部豪雨により、筑後川水系赤谷川、乙石川、大山川では、上流で山腹崩壊が多数発生したことに伴い、大量の土砂や流木が流出し、河道埋塞や家屋等を倒壊させるなど甚大な被害が発生しました。このため、通常の降雨でも流路が安定せず二次災害の発生するおそれが極めて高いことから、緊急的に流路の確保や土砂、流木の除去を実施してきました。

このたび、赤谷川、乙石川、大山川において、通常の降雨を流下させる流路の確保が概ね完了しました。

今後は、これまでの整備の効果を確保するため、赤谷川中流部に土砂止め工(仮設・2箇所)を整備するとともに、地域の安全性をより高めるため再度下流からの追加掘削を継続して実施して参ります。

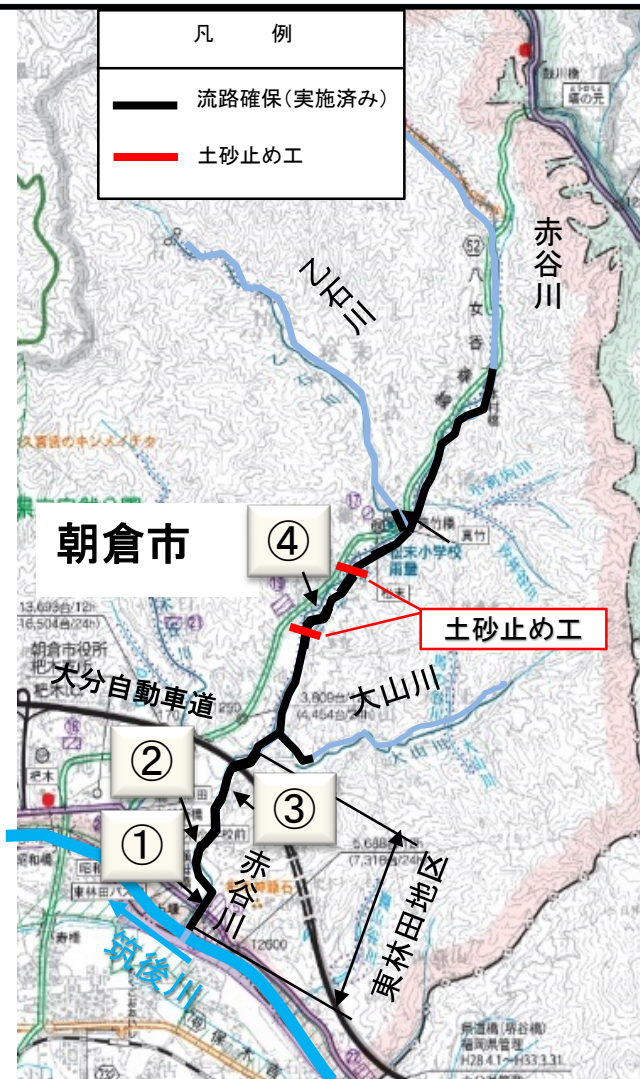
《問い合わせ先》

【現地工事に関すること】九州地方整備局 筑後川河川事務所
副所長 寺下 進一
担当課長 藤岡 慎介
担当課長 原田 隆二
代表0942-33-9131 FAX0942-35-0164

赤谷川応急復旧工事(権限代行)の実施状況

○赤谷川、乙石川、大山川において、通常の降雨を対象とした流路の確保が概ね完了

○今後は、土砂止め工(仮設・2箇所)の整備及び再度下流から追加掘削を実施(10月以降継続実施)



平成29年9月末時点の流路確保状況

